

2024年9月24日
一般社団法人日本能率協会
経営・人材革新センター

【報道資料】

【開催告知&取材のお願い】

～キーワードは“人手不足の解決”～

道内サービス業界の課題解決につながる製品・サービスが揃う業界専門展示会

『第7回 観光・ホテル・外食企業展 HOKKAIDO 2024』

アクセスサッポロにて10月9日(水)・10日(木)の2日間開催

一般社団法人日本能率協会(JMA、会長:中村正己)は、2024年10月9日(水)、10日(木)の2日間、アクセスサッポロ(札幌市白石区)で、「第7回 観光・ホテル・外食企業展 HOKKAIDO 2024」を開催いたします。本展示会は総称を「NEXT150 北海道プロジェクト」と題し、本展示会のほか「北海道 都市開発・建設総合展 2024」と「災害リスク対策推進展 北海道 2024」、「北海道エネルギー技術革新 EXPO 2024」を含めた4つの展示会で構成されます。

日本政府観光局(JNTO)の資料によると、7月の訪日外客数は、3,292,500人となり、前年同月比では41.9%増、2019年同月比では10.1%増を記録しています。コロナ前の2019年同月の2,991,189人を約30万人上回り、2か月連続で単月として過去最高を記録しています。また、今年7月までの累計では、過去最速で2,000万人を突破したとあります。

観光資源が豊富な北海道においても、上記の通り旅行需要が過去最大に増えている中、顕在化している人手不足や省力化などの課題解決が急務となっています。また、エスコンフィールドの開業や、2030年度を予定する北海道新幹線の札幌延伸など、北海道の活性化につながる動きが進んでいます。

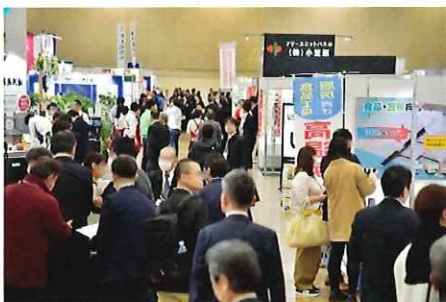
課題解決とおもてなし価値向上のため、本展示会はサービス業界に向けた展示会では道内最大級の規模で開催を予定しています。

本展示会にご来場いただいた際には、アクセスサッポロでのリアル開催を通して実際の商品・サービスを見て・触れて・体感していただけます。具体的には、省人化・効率化につながるAI調理ロボット、自動チェックイン機、全自動システム炊飯機、人材紹介サービスに加え、おもてなし向上に寄与するヴィーガン/ベジタリアン対応の業務用冷凍食品、ハラル対応食品、窓まわりのオーダーメイドシステムなど、幅広い企業のニーズに対応可能な製品が一堂に会します。

(出展製品の一覧につきましては下記WEBサイトよりご覧いただけます。)

<https://www.ult-thunder.jp/hokkaido-3-exhibition/ja/navi/exhibitor/search>

本展示会をご取材いただける場合は本資料の5ページの取材申請方法をご覧いただき、WEBフォームよりご申請をお願いいたします。



前回の様子

また、会場内では無料でご参加いただける講演・セミナーをご用意しております。旭山動物園の園長を務められた小菅 正夫氏の講演をはじめ、北海道において大きなポテンシャルを秘めた道の駅と観光について、道の駅たがみ 駅長の馬場 大輔氏、はまなす財団理事の林 美香子氏によるご講演、サービス業界のテクノロジーを駆使したこれからの接客として、WARA-L の遠山 啓之氏による講演など、2 日間で 5 本の講演を予定しています。

現在、公式ホームページ(「観光・ホテル・外食産業展 HOKKAIDO」で検索、または下記 WEB サイト)にて来場事前登録を受け付け中です。

<https://www.ult-thunder.jp/hokkaido-3-exhibition/visitor/fill>

■開催概要

展示会名:「第 7 回 観光・ホテル・外食産業展 HOKKAIDO 2024」

開催期間:2024 年 10 月 9 日(水)・10 日(木)10:00~16:00

会 場:アクセスサッポロ(札幌市白石区)

主 催:一般社団法人日本能率協会

出展規模:130 社/210 ブース(同時開催展含む、予定)

入場者数:6,000 名(4 展合計、予定)

第7回
観光・ホテル・外食産業展
—HOKKAIDO 2024—

■注目出展企業



最新AI調理ロボットの実演・試食あり!
ぜひAI調理ロボット の味をご体験ください!

Anybody
誰でも簡単に味を再現できる

Anything
何でも、炒め、煮込み、煮つけ、冷菜、あらゆる調理に対応

Anywhere
どこでも同じ料理品質

観光・ホテル・外食産業展
ブースNo. 008
にてお待ちしております。

Omni
北海道工商会株式会社

北海道工商会(ブース No.008)

AI 調理ロボット BOTINKIT

最新の AI 調理ロボットの展示です。料理人の人手不足の解消、厨房の効率アップ、コストの削減、出来高 UP に繋げる次世代 AI 調理ロボットです。自動で 0.1g 単位の液体調味料や粉末調味料、ソースなどを正確に投入し、誰でも名人の味を再現できる、優れた厨房設備です。ホテル・外食産業に関わらず、介護施設や病院、学校、企業などでもお役に立てます。

nippon



ニッポン(ブース No.009)

当社の「ベジカフェ」シリーズで、海外観光客のヴィーガン対応も楽々！！ グループ予約キャンセルなどのチャンスロスが無くせます！ 当ブースでは、簡単に調理が可能な「業務用冷凍食品」を出展させて頂いており、とりわけインバウンドによって顕在化した、ヴィーガンやベジタリアンの海外のお客様に対し、簡単にお料理を提供できる「ベジカフェ」シリーズをご紹介します。グループ客にヴィーガンの方がいて、対応した料理が用意できないことで、100名単位の案件を取りこぼして大きなチャンスロスになった事例も耳にしております。一方、少数のヴィーガン/ベジタリアンの方専用に対応した料理を予め用意しておくのは、非常に大変なことです。当社の「ベジカフェ」シリーズは、「NPO法人ベジプロジェクトジャパン」様のヴィーガン認証を取得した冷凍食品で、1食使い切りサイズなので急なお客様のご来店にも簡単に対応が可能です。また、商品ラインナップも、ご飯もの、パスタソース、デザートなど幅広くご用意しており、基本的なメニュー以外にも様々なアレンジ料理に使用しやすい味付けとなっております。

■注目講演

※敬称略

1. 旭山動物園復活の立役者が語る「逆境を跳ね返す組織づくり」

○日時: 2024年10月9日(水) 10:30~12:00

○会場: アクセスサッポロ 大展示場内特設ステージ

○定員: 100名(聴講無料・要事前登録)

○講師: 旭山動物園 元園長 小菅 正夫



○講演概要

コロナ禍を経て観光需要が復活した中で、関連業界では人手不足が課題となっています。特に北海道はインバウンドの注目を集めており、今後さらに需要が増えていくと考えられ、早急な対策が求められます。旭山動物園を復活させた立役者である小菅正夫氏をお招きし、課題から活路を見出すためのマネジメントについて、ご自身の経験を交えながら提言をいただきます。

2. 公益財団法人はまなす財団 共催セミナー

※敬称略

道の駅が、観光と地域づくりの新たな舞台になる

～「道の駅」第3ステージが目指す、道の駅のこれから

○日時: 2024年10月10日(木) 13:50~14:50

○会場: アクセスサッポロ 大展示場内特設ステージ

○定員: 100名(聴講無料・要事前登録)

○講師:

道の駅たがみ協同組合

道の駅たがみ 駅長

馬場 大輔



公益財団法人はまなす財団 理事
北海道大学大学院農学研究院 客員教授
林 美香子



○講演概要

新潟市近郊の人口約1万人の町、田上町。2020年にオープンした「道の駅たがみ」は、わずか4年で年間来場者数が60万人に上るとともに、オリジナル特産品の開発、町の名物「竹」をテーマにしたイベントの開催など、地域文化の継承と新たな価値づくりの舞台となっています。駅長の馬場 大輔氏を招き、北海道大学大学院農学研究院客員教授 林 美香子氏とともに、観光振興と地域活性化の両面から期待される、これからの道の駅の姿を考えます。

3. テクノロジー時代のこれからの接客

○日時:2024年10月10日(木)15:10~16:00

○会場:アクセスサッポロ 大展示場内特設ステージ

○定員:100名(聴講無料・要事前登録)

○講師:株式会社 WARA-L 代表取締役
遠山 啓之



※敬称略

○講演概要

近年、人材不足・人件費増や原価高騰など、外的要因の大きな変化により、採用難解消・生産性向上などの課題に対し、テクノロジーで導入による解決策が増えてきている。

目の前の課題解決は本質的ではない…

ヒトが活躍する世界は？これからの接客で大切なことは？新しい切り口のセミナー

※講師への取材については、事前確認が必要となります。

■注目企画「ネクストリーダーズ」

～新たなホスピタリティ業界を描く！ 日本能率協会が次世代リーダー向けの議論・発表の場を提供～

(10月9日(水)12:10~13:40 大展示場内特設ステージにて開催 同日 15:00 より結果発表)

日本能率協会は、「観光立国を担う次世代が考える新たなホスピタリティ業界のあり方」をテーマに、宿泊業界などの将来を担う若手たちが本音で議論を交わすプロジェクトを企画しました。

観光産業を支えてきたホスピタリティ業界は、人手不足など重大な課題を抱えつつも、日本全体の経済発展に大きく寄与する重要な役割を果たしています。私たちは、そんな業界の課題解決と発展に向けた新しい可能性を、若き才能たちとともに発掘・提案することを目指しています。

プログラムは総合ファシリテーターの徳江 順一郎氏(東洋大学 国際観光学部 准教授)のもと3つのステップから成り立っています。ステップ1では各自が抱える課題について議論を通じて現状分析を行い、解決策のテーマを決定。ステップ2では現役経営者や有識者と意見を交換し、提言の具体的内容を練り上げます。最終的には、展示会場内のステージにて各チームがその提言を発表します。

当日のステージでは、今後業界を支えていく若手たちが現状の課題について熟考し、たどり着いた提言を聞いていただくことで、日ごろ抱える課題を解決させるためのヒントを得ることができます。また、皆様の投票から選ばれた最優秀チームは 2025 年 2 月の HCJ ホテル・レストラン・ショー(東京・東京ビッグサイト)にて開催される、全国大会に出場します。

新たな風を巻き起こすことが期待される若手の発表に、ぜひご注目ください。



取材申請について

取材にあたってはプレス登録が必要です。円滑な入場手続きのため、事前のプレス登録へのご協力をお願いします。

※プレス登録いただいた方には、「プレスバッジ」「会場案内図」「取材に際してのお願い」をお渡しします。

事前登録:「取材お申込みフォーム」からご登録ください。<https://www.jma.or.jp/press/>
『事前登録いただいた際の返信メール』のプリントアウトとお名刺 2 枚をご用意の上、
「プレス受付(登録所内)」にお越しください。

※プレス登録は、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、Web 媒体などの取材／編集／報道に関わる方が対象です。
報道機関の広告・営業部門、広告代理店、マーケティングリサーチ会社の方はご遠慮いただいております
(上記の方は、一般登録でご入場いただけます)。ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

◆講演・セミナーをご取材される際のお願い

取材される場合は、対象者の了解のもと行ってください。

講演に使用された投影パワーポイント、配布資料およびテキストなどの無断転載は固くお断りいたします。
講演内容を掲載する場合は、必ず講演者に許可を得てください。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

【展示会に関するお問い合わせ先】

NEXT150 北海道プロジェクト事務局 担当:坂本
一般社団法人日本能率協会 経営・人材革新センター TEL: 03-3434-3453
〒105-8522 東京都港区芝公園 3-1-22

【報道関係の方のお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 広報室 担当:加藤岡
〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22
TEL:03-3434-8620 E-mail:jmapr@jma.or.jp